

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	知能コンピューティングを加速する自己学習型・革新的アーキテクチャ基盤技術の創出
研究代表者	本村 真人 (北海道大学・大学院情報科学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、深層ニューラルネットワーク（DNN）エンジン、組み合わせ問題をエネルギー最小化問題に帰着させるアニーリング計算機構、ニューロモルフィック機構を統合した新しい知的コンピューティングを支えるアーキテクチャ基盤の構築に関するものである。応募者はこれまで DNN チップや再構成型プロセッサなどの研究で大きな研究成果を上げ、世界的に高く評価されており、本研究により、ムーアの法則が終焉する時代におけるコントロールフロー型処理からデータフロー型処理への転換、推論と学習の両機能の実現、エネルギー効率の革新など、今後の知的コンピューティング基盤構築において、大きな研究成果が期待できる。</p>